

アクセスルート指定および改善方針（案）の概要

主要公共施設と駅とを結ぶアクセスルートを指定し、 「わかりやすい」「歩きやすい」「使いやすい」バリアフリー化の取組を進めます

アクセスルートを指定する 主要な公共施設12施設を選定

1次抽出

- ・ 駅から概ね500m以内
- ・ 不特定多数の利用者と、相当数の高齢者、障害者、乳幼児連れが日常的に利用

35施設

2次抽出

施設・道路・駅等の各管理者が連携することでバリアフリー化の効果が高い施設

- [抽出条件]
- ・ 施設の重要度
 - ・ 施設の複合・多機能性
 - ・ 施設の集積状況
 - ・ 障害者の利用状況
 - ・ 周辺歩道等の状況

12施設

- ◆ 練馬区役所
- ◆ 区民・産業プラザ
- ◆ 練馬文化センター
- ◆ 練馬区立美術館・貫井図書館
- ◆ 中村橋区民センター
- ◆ 石神井庁舎
- ◆ 石神井公園区民交流センター
- ◆ 大泉区民事務所
- ◆ 大泉学園ゆめりあホール
- ◆ 大泉総合福祉事務所
- ◆ 光が丘区民センター
- ◆ 文化交流ひろば
- ◆ 光が丘図書館
- ◆ 光が丘図書館

12施設と駅を結びより安心・快適に利用できる経路を アクセスルートとして指定 [別紙2参照]

区民のみなさんと一緒にわかりやすく・歩きやすいルートを検討し、まち歩き点検を実施しました。



いただいたご意見

点字ブロックが繋がっていない。

駅から外に出ると行きたい施設の方向がわからない。

点字ブロック上に駐輪場の自転車がはみ出していて危険

施設管理者による 区施設の自己点検の実施

ガイドラインに基づく25項目



区民点検、自己点検の結果等から改善方針のとりまとめ

指定アクセスルートでの今後の取組

平成31年4月～

改善方針に基づき、関係施設等に働きかけながらバリアフリー化を進めます

わかりやすく一貫した案内誘導

区ホームページ等で、各施設への移動しやすい経路、バリアフリー設備等の情報提供

駅周辺や交差点等の要所に誘導サインや案内地図等を追加、改善

主要な公共施設の出入口に、だれでもトイレや授乳室などのバリアフリー設備の位置などを掲示

駅から主要な公共施設まで、視覚障害者誘導用ブロックを連続的に整備

主要な公共施設の総合案内等に、アクセスルートや周辺のバリアフリー設備等の案内地図を常備

連続的でゆとりのある歩行空間

歩行者の安全な歩行を妨げる障害物等を置かないよう歩道等の適正使用について普及啓発

円滑な垂直移動

駅等の構造上、施設までの経路が大きく迂回するなど利便性を欠く場合、鉄道事業者など関係者と協議し、2ルート目のエレベーター等を整備

管理区域境界のつながりを強化

管理区域境界部分の段差や視覚障害者誘導用ブロックの不連続の解消

視覚障害者の利用頻度が高い施設周辺に音声信号機、エスコートゾーンの設置を警察等に働きかけ

福祉車両への車いすの乗降がしやすくなるよう交通広場のタクシー乗降場等で歩道を切り下げ

拠点機能の充実によるネットワークの拡大

高齢者、障害者、乳幼児連れが利用しやすいトイレ設備等の充実

バリアフリー設備等の計画的な点検と、適正利用の普及啓発



練馬区役所・練馬文化センター のアクセスルートで モデル事業を実施 (平成31年度)

管理区域境界で段差や視覚障害者誘導用ブロックの不連続がなく円滑な移動ができる整備例

駅から施設まで視覚障害者誘導用ブロックを整備よりわかりやすく、誘導サイン等の追加、改善手助けが必要な人などへの周囲の声かけや道案内など、区民と共に外出しやすい環境をつくる啓発事業の実施

その他のルートでは、それぞれの施設管理者等に連続性に配慮した対応を促していきます。